

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名		観光関係団体参画事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	040303000549	
						単独/補助	補助	所属課	050301	
政策体系	総合計画の施策名	0403		観光の振興				課長名	商工観光課	
	政策名	04		活力ある産業のまちづくり				グループ	商工観光グループ	
	施策名	03		観光の振興				担当者名		
	手段名	03		③観光まちづくりの実践						
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	07	01	04	01	00	観光事業			
法令根拠							単年度繰返し (昭和58 年度~)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入				

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
本県への観光客誘致のため、季節に応じて県内外での観光キャンペーンに参画し、本市の観光資源や物産のPRを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 観光キャンペーン、物産展への参加 研修会等への参加 広域観光パンフレット・冊子への掲載

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 県観光物産協会への参画 漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会への参画 JR東日本水戸観光連盟への参画 	協議会会議への参加	回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	8.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
<ul style="list-style-type: none"> 観光キャンペーン、物産展への参加 研修会等への参加 広域観光パンフレット・冊子への掲載 	観光キャンペーンの実施	回	8.00	1.00	8.00	8.00	5.00
	観光と物産展の開催	回	5.00	0.00	5.00	5.00	10.00
	掲載回数	回	10.00	2.00	10.00	10.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
茨城県の観光資源を県内外の人々に知らせる。	観光キャンペーンの来場者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	観光と物産展の来場者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	01年度	02年度	03年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	693	688	688	0
	事業費計 (A)	千円	693	688	688	0
正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

02年度事業費 実績 (千円)

03年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	02年度実績	03年度予算
18 負担金補助及び交付金	688	688
合計	688	688

事務事業名	観光関係団体参画事業	事務事業No.	40303000549	所属課	商工観光課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
県観光物産協会は昭和58年、茨城県の観光地をPRするために設立。その後、昭和62年にJR東日本水戸観光連盟、平成8年に漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会が設立された。近年は交流人口（観光客）増による地域活性化が主要事業となってきている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特に無し					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 県やJRと連携することにより、市単独で行うよりも効果的な観光PRができています。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市の認知度が上がり誘客につながっている。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある JRとの連携を強めることにより、さらなる誘客を期待できる。
効率性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 観光キャンペーン等を市単独で行うことにより、市の負担が大きくなる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 特に無し。
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 人口割で負担金が決まるため、市単独での削減はできない。
⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市の観光をPRするのもであり市全体の利益につながっている。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																								
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	観光関係団体と連携し誘客に貢献した。 ・季節に応じて県内外で観光キャンペーンに参加																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○											
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
より誘客するため、関東近辺駅でパンフレットの設置やブース出展を重ね、桜川市を知ってもらう機会を増やす。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>